

おうちでミュージアム クイズ

Q1. 今から約 220 年前の江戸時代に、ユウフツには外国から北の地をまもり、原野のいか
たく(畑を作って住む場所にする)のために、江戸(今の東京)からさむらいがやっ
てきました。その人たちは何と呼ばれていたのでしょうか？

はちおうじ どうしん
八王子〇〇同心

- ① 八王子十人同心 ②八王子百人同心 ③八王子千人同心

Q2. 美術博物館のエントランスで、いつもみんなをお出迎えしている 2 頭のマンモス。こ
どものマンモスには、モデルがいます。そのマンモスの名前は、なんでしょう？

- ①ディーノ ②トゥース
③ピース ④ディーマ



Q3. 博物館には、アイヌの人たちが約 770 年前につかっていた丸木舟が 5 艘てんじされ
ています。じつはこの舟には、海でつかっていた舟と、川でつかっていた舟の 2 つのしゅ
るいがあります。それでは、海でつかわれていた舟には、どんなとくちょうがあるでしょ
うか？考えてみましょう！



A. ③^{はちおうじせんにんどうしん}八王子千人同心

八王子千人同心は、^{はらはんざえもん}原半左衛門という人を^{たいちょう}隊長として 100 人が^{えぞち}蝦夷地（今の北海道）へと入りました。ユウフツに来たのは、半左衛門の弟である^{はらしんすけ}原新介がひきいた 50 人でした。八王子千人同心の人たちは一生けん命畑を作ろうとしましたが、寒さや、食べ物が少ないことで^{びょうき}病気になってしまう人がたくさん出ました。八王子千人同心は、ユウフツに住み続けることはできませんでしたが、今でも彼らのおはかは勇払の地で^{だいじ}大事にされています。



A. ④^{ディーマ}ディーマ

ディーマは、シベリアにある^{こうざん}鉦山のこおった土の中から見つかった、一歳^{さい}のこどもマンモスです。マンモスはぜつめつしてしまつたため、今ではそのすがたを見ることはできません。ですが、ディーマはとてもきれいな^{じょうたい}状態で発見されたので、小さな耳の形や、長い毛、短いしっぽなど、生きていたときにマンモスがどんな^{どうぶつ}動物だったのかがよく分かりました。

A. 舟のりょうがわのふちに、小さなあながあいている

このあなは、波が舟の中に入らないようにする板をくくりつけるためにあけられたものです。一目では見のがしてしまいそうなくちょうですが、こうした小さなことから、アイヌの人たちがどんなものを使っていたのか、くらしのようすが見えてきます。

